

6 ドレンアップメカ

1

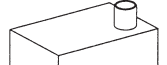
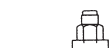
YAES・T-B形用
形名：PAC-SF85・
86DM

1. 適用機種

このドレンアップメカは、室内ユニット内部に取付けて使用するものです。

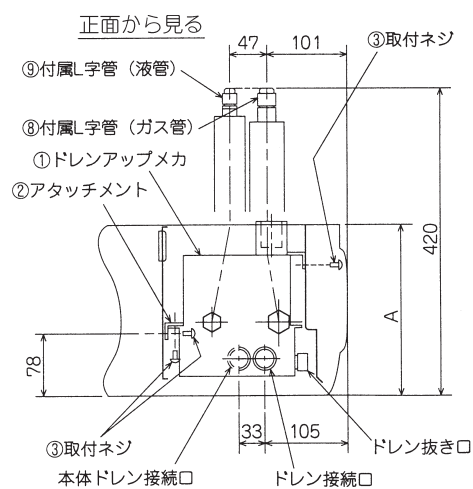
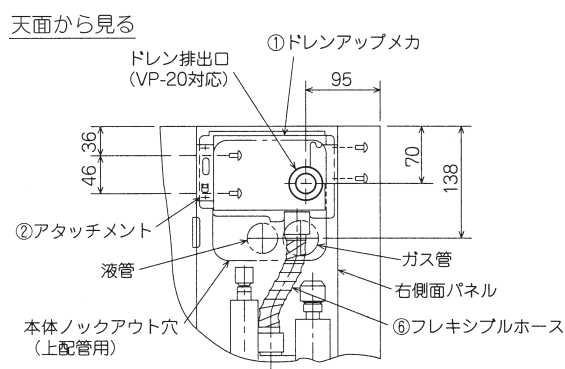
形 名	適用機種	注1. ドレン揚程はユニット下部より500mm迄です。
PAC-SF85DM	J71形	注2. ドレンアップメカ取付けにより、ドレン配管・冷媒配管共に上側の取出しとなります。
PAC-SF86DM	J140形	注3. ドレンアップメカ取付けは、室内ユニットを吊り込む前に行なってください。 注4. 冷媒配管、ドレン配管点検用に点検口を設けてください。

2. 付属部品

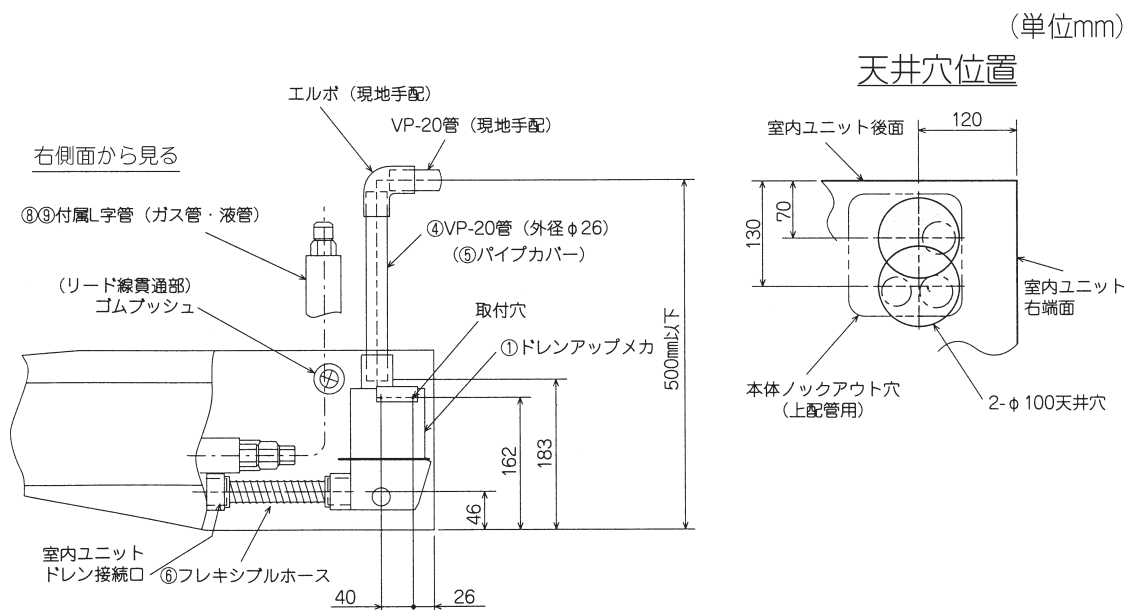
①ドレンアップメカ  ×1	②アタッチメント  ①ドレンアップメカ 取付用金具 ×1	③ネジ(4×10)  ①ドレンアップメカ 取付用 ×6	④VP-20管  ×1	⑤パイプカバー  ④VP-20管 断熱用 ×1	⑥フレキシブルホース  ×1
⑦ファスナー  ×2	⑧L字管(ガス管)  ×1	⑨L字管(液管)  ×1	⑩断熱材A 6t×220×80 (内側巻付用)  ⑧⑨L字管と現地 配管断熱用 ×2	⑪断熱材B 3t×250×120 (外側巻付用)  ⑧⑨L字管と現地 配管断熱用 ×2	⑫後面穴カバー  ×1

3. ドレンアップメカ取付け状態図

(单位mm)

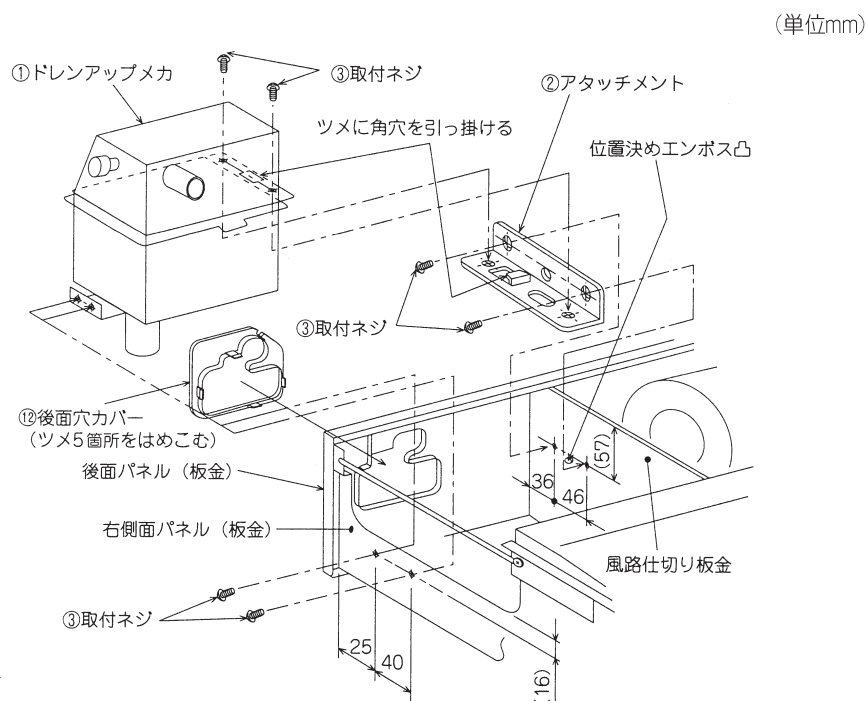


	ガス管	液 管	A	ドレンアップメカ形名
J71形	φ 15.88	φ 9.52	210	PAC-SF85DM
J140形	φ 19.05	φ 9.52	270	PAC-SF86DM



4. ドレンアップメカ取付

- 1) 吸込グリルとサイドパネルを取外す(室内ユニットの据付工事説明書を参照)
- 2) 室内ユニットの上配管用ノックアウト穴を開ける
- 3) 付属アタッチメント②を取付ネジ③(2本)で固定
- 4) ドレンアップメカ①を取付ネジ③(4本)で固定
- 5) 後面パネルの配管穴に後面穴カバー⑫を取付ける



5. 冷媒配管工事

配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。

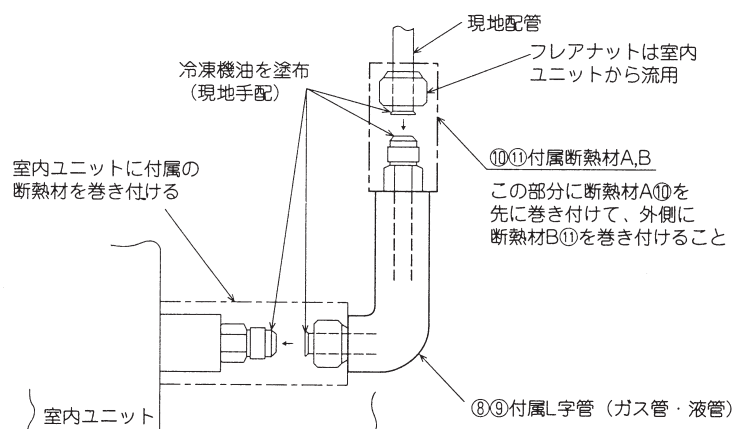
【室外ユニットのパックドバルブは全閉のまま】

- 1) 付属のL字管(ガス管、液管)⑧⑨のフレアシート面に冷凍機油を塗布する
- 2) 室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す
- 3) 室内ユニット側接続部のフレアシート面に冷凍機油を塗布する
- 4) 付属のL字管(ガス管、液管)⑧⑨を素早く接続
- 5) 現地配管に取外したフレアナットをはめてフレア加工する
- 6) 現地配管と付属のL字管も同様に接続する
- 7) 各接続部に断熱材を巻き付ける

【冷媒回路完成後】

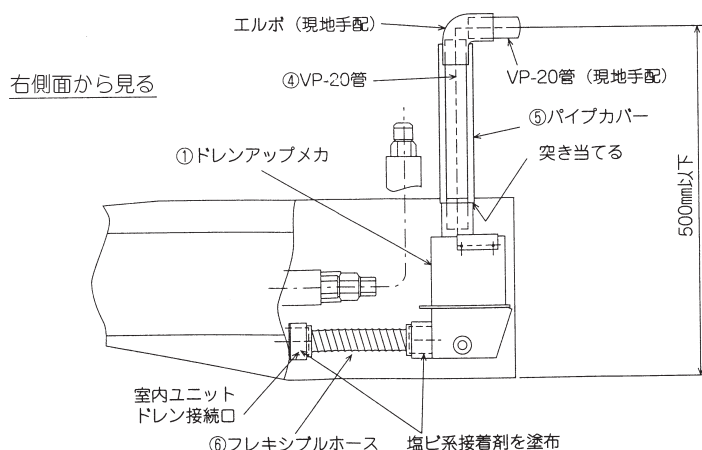
- 1) 室外ユニットのパックドバルブサービスポート口から真空引きを行なう
- 2) 上記パックドバルブ(液、ガス共)を全開にする

●パックドバルブの取扱い方法は、室外ユニットに表示してあります。



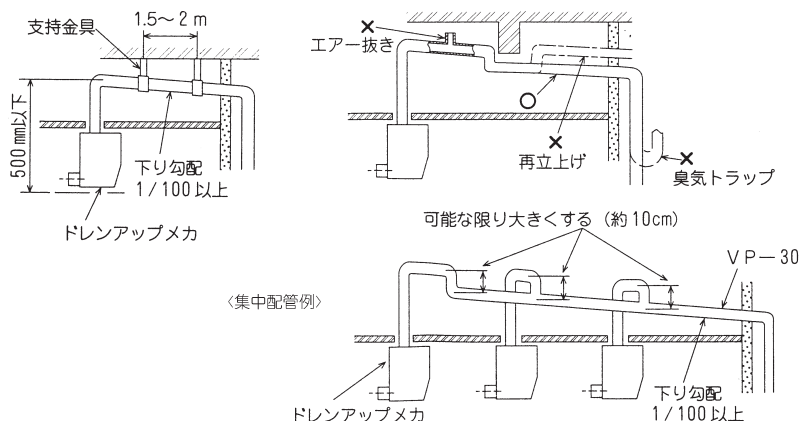
6. ドレン配管工事(ドレン揚程は室内ユニット下面より500mm迄)

- 1) 付属VP-20管④をドレンアップメカ①のドレン吐出口に塩ビ系接着剤を塗布して差し込む(差し込み代 30mm)
 - 2) 付属VP-20管④と現地ドレン配管を90° エルボ等を使用し接着固定する
 - 3) 付属パイプカバー⑤をVP-20管④に巻く
 - 4) 付属フレキシブルホース⑥をドレンアップメカ①と室内ユニットドレン接続口に塩ビ系接着剤を塗布してねじれないように差し込む
- ドレンアップメカから外部に至るその間で、ドレン配管は全て断熱を施してください。



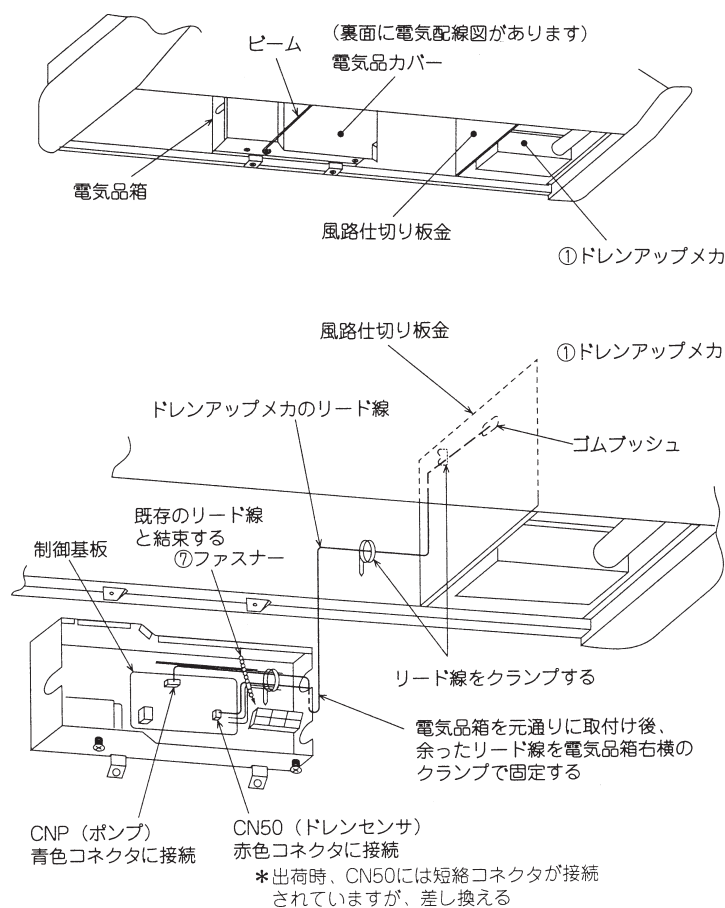
【ドレン配管工事は下記項目を厳守してください】

- ・ドレン揚程は、室内ユニット下面より500mm以下としてください。
- ・排水側(室外側)が下り勾配(1/100以上)としてください。
- ・途中にトラップや山越えを作らないでください。
- ・横引きは、20m以下にしてください。又、途中に支持金具などを設けて波打ちを無くしてください。
- ・エア抜き管は、絶対につけないでください。ドレンが吹き出るおそれがあります。
- ・硬質塩ビパイプ一般管VP-20(外径φ26)を使用し、接続部は塩ビ接着剤を塗布して漏れのないようにしてください。
- ・市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03/肉厚9mm以上)を巻いてください。
- ・排水口部の臭気トラップは設けないでください。
- ・配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所としてください。
- ・配管は、イオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
- ・集合配管はVP-30程度としてください。又、ドレンアップメカから立上げた配管の出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるように施工してください。



7. 電気配線工事

- 室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。
- 電源がOFFであることを確認して作業してください。
- 1) ビームを取外す
- 2) 電気品カバーを取外す
- 3) 電気品箱を下に引き降ろす
- 4) ドレンアップメカ①のリード線を、風路仕切り板金のゴムブッシュから貫通させる
- 5) 室内ユニット制御基板のCNP、CN50コネクタに各リード線を接続する
- 6) 電気品箱内でリード線がばらつかないように付属のファスナー⑦で結束する
- 7) 電気配線工事が完了したら電気品箱、カバー、ビーム等を元通りに取付ける



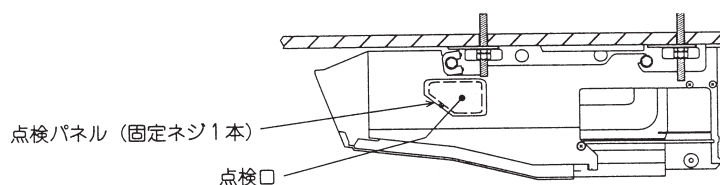
- 機種シリーズにより制御基板に接続するコネクタの位置が上図と異なる場合がありますが、確実にCNP、CN50コネクタに接続してください。

8. 試運転

- 試運転により排水が確実に行なわれていること、各接続部からの水漏れのないことを確認してください。
- 室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。

(1) 注水作業

- 1) 右側面パネル(板金)の点検パネルを取外す
- 2) 点検口より約1L注水する

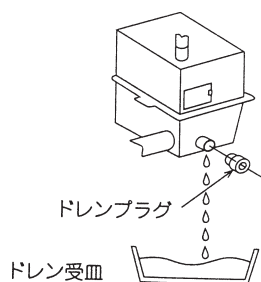


(2) 試運転

- 1) 電源を入れる
- 2) リモコンの試運転ボタンを2度押す
- 3) リモコンの運転切換ボタンを押して冷房にする
 - *ドレンアップメカが作動して排水します
- 4) 排水確認する
- 5) リモコンの運転/停止ボタンを押して試運転を解除する
- 6) 電源を切る

(3) 確認後、部品を元通りに取付ける

- 暖房シーズンにドレンアップメカを取付けた場合は、必ずドレン抜きを行なってください。
- 又、ドレン抜き完了後はドレンプラグを元通りに差し込んでください。



2

YAESJ280T-A1形用

形名：PAC-KB43DM

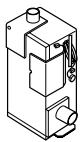
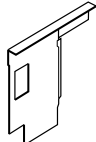
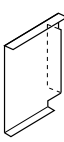
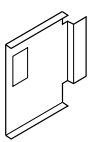
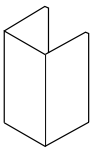
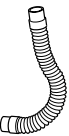
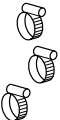
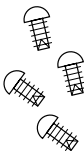
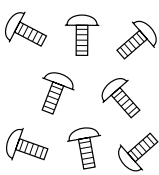
1. 適用機種

形 名	適 用 機 種
PAC-KB43DM	YAESJ280T-A1

2. 付属部品

ご注意

- ・ドレンアップメカ本体①と化粧カバー⑦はネジ止めして梱包されています。
- ・取付作業を行なう前にネジを取外してください。

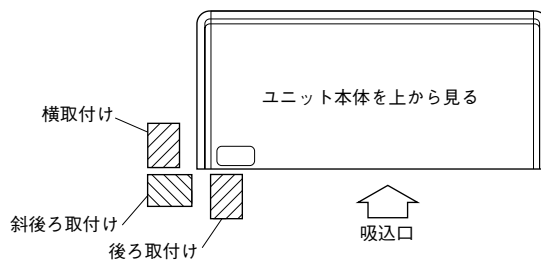
①ドレンアップメカ本体 1個 	②トリツケイタ 1 1個 	③トリツケイタ 2 1個 	④トリツケイタ 3 1個 
⑤ホキョウ 1 1個 	⑥ホキョウ 2 1個 	⑦化粧カバー 1個 	⑧ドレンホース 1 長さ=340mm 1個 
⑨ドレンホース 2 長さ=375mm 1個 	⑩ツギテ 1個 	⑪ハイセンクミタテ 1個 	⑫バンタイ 2個 
⑬シールテープ 2個 	⑭ホースバンド 3個 	⑮PTTネジ4×10 4個 	⑯Pトラスネジ4×12 4個 
⑰ザツキタッピンネジ5×10 8個 			

3. 取付要領

この別売部品は、取付位置を3箇所から選択できます。(下図)

ご注意

- ・作業を行なう前に必ず主電源のOFFを確認してください。
- ・作業は必ず軍手・腕指しなど保護具をつけて行なってください。



(1) ドレンアップメカの取付

下表の作業手順に従って取付けてください。

取付位置によって手順が異なりますのでご注意ください。

(①、②、③、一の順番で作業してください)

ドレンアップメカの取付位置及び手順			作 業 内 容	図解
横取付け	斜後ろ取付け	後ろ取付け		
①	①	①	右側のサイドパネルを外してください。 (ネジ1本)	
②	②		ホキョウ1⑤を本体後ろ側に取付けてください。	図1
③	③		トリツケイタ1②を本体後ろ側に取付けてください。	図2
④			ドレンアップメカ本体①にトリツケイタ2③を取付けてください。	図3
⑤			前記項目で組立てたドレンアップメカを、トリツケイタ1②に取付けてください。	図4
	④		ドレンアップメカ本体①を、トリツケイタ1②に取付けてください。	図5
		②	ドレンアップメカ本体①にトリツケイタ3④を取付けてください。	図6
		③	前記項目で組立てたドレンアップメカを、本体横側に取付けてください。	図7
		④	ホキョウ2⑥を、本体横側に取付けてください。	図7

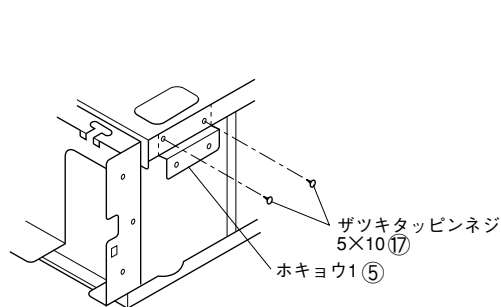


図1

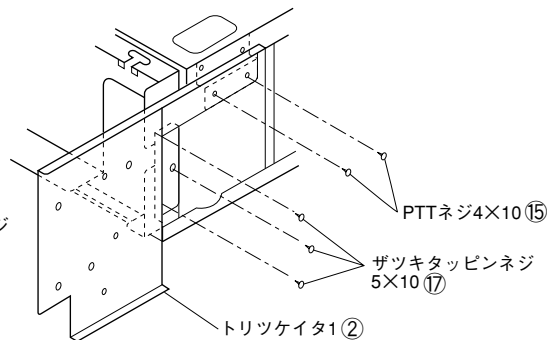


図2

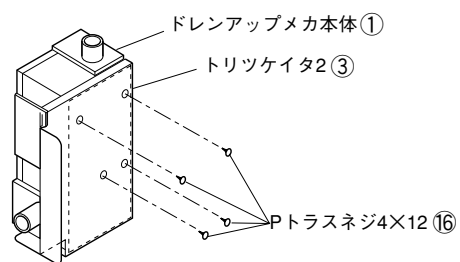


図3

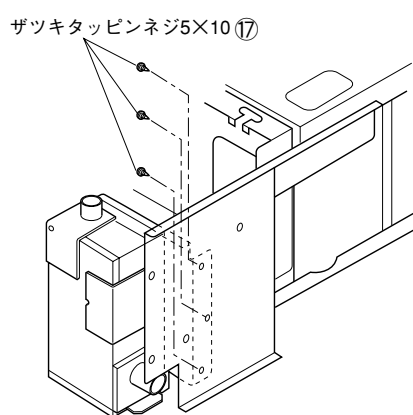


図4

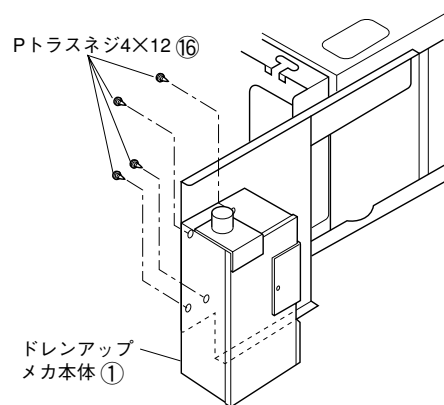


図5

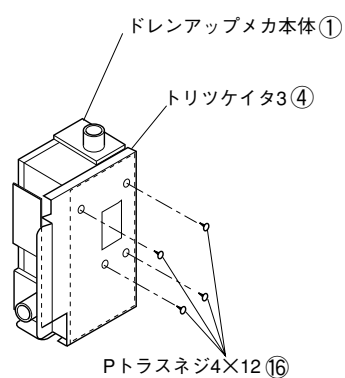


図6

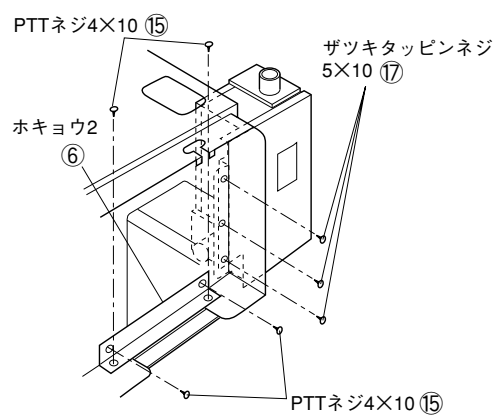


図7

(2) ドレンホースの取付

横取付の場合

- 1) 図8に示す形状の配管を用意してください。(現地手配品)
- 2) 本体ドレン管に本体付属のビニールチューブを付属のホースバンドで固定してください。—図9
- 3) ドレンアップメカ本体①のドレン給水口にツギテ⑩を取付け、1)で用意したドレン管を取付けてください。—図9

ご注意

- ・ 接続口(4箇所)は、全周を塩ビ系接着材にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。
- ・ 接続口は、ホースバンド⑭にて固定(4箇所)してください。
(ホースバンド⑭のネジ部は、上にして固定してください。)
- ・ 以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き充分に断熱処理をしてください。

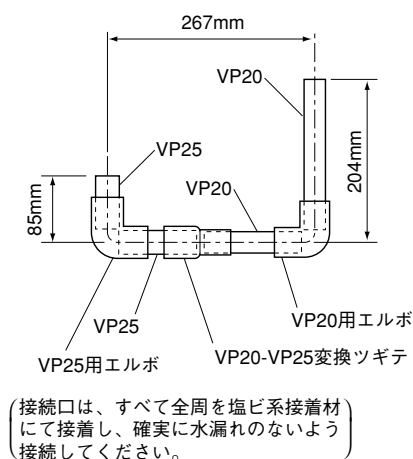


図8

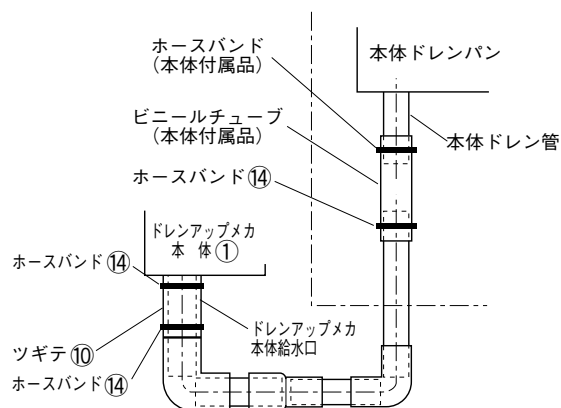


図9

斜後ろ取付の場合

- 1) 本体ドレン管と、ドレンアップメカ本体①のドレン給水口をドレンホース2⑨にて接続してください。－図10

ご注意

- ・接続口(2箇所)は、全周を塩ビ系接着材にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。
- ・接続口は、ホースバンド⑭にて固定(2箇所)してください。
(ホースバンド⑭のネジ部は、上にして固定してください。)
- ・以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。

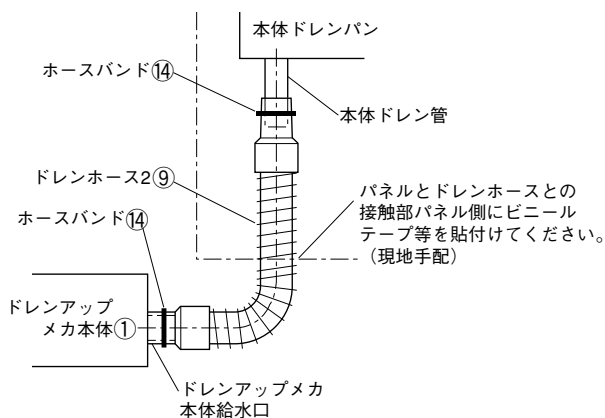


図10

後ろ取付の場合

- 1) 本体ドレン管と、ドレンアップメカ本体①のドレン給水口をドレンホース1⑧にて接続してください。－図11

ご注意

- ・接続口(2箇所)は、全周を塩ビ系接着材にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。
- ・接続口は、ホースバンド⑭にて固定(2箇所)してください。
(ホースバンド⑭のネジ部は、上にして固定してください。)
- ・以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。

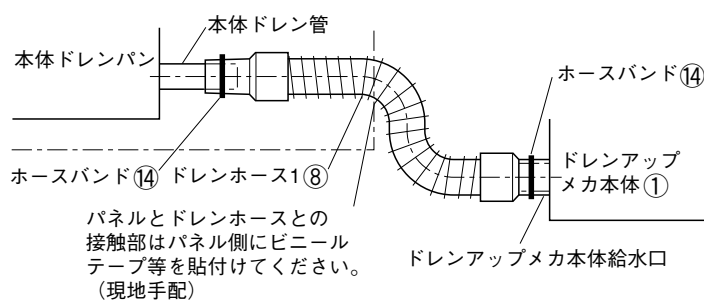


図11

4. 電気配線

- 1) 制御箱カバーを取外してください。(ネジ2本)
- 2) ドレンアップメカ本体①のコネクタ(赤)にハイセンクミタテ⑪のコネクタ(赤)を差し込んでください。—図12
- 3) ハイセンクミタテ⑪及びセンサ配線の経路は、本体後ろの開口部から制御箱へと引き回してください。制御箱内の配線経路は図13を参照してください。
- 4) ハイセンクミタテ⑪のコネクタ(青)を制御基板上のコネクタ(CNP)へ、センサ配線のコネクタ(白)を制御基板上のコネクタ(CN31)へ、それぞれ差し込んでください。—図13

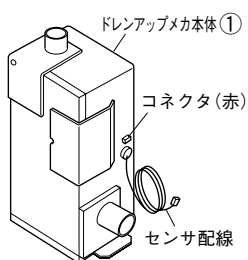


図12

(最初から制御基板上のコネクタ(CN31)に差し込んでいるコネクタを抜き取ってセンサ配線のコネクタを差し込んでください。)

- 5) 制御箱カバーの配線穴からハイセンクミタテ⑪及びセンサ配線を貫通させた後、制御箱カバーを元どおり取付けてください。—図13

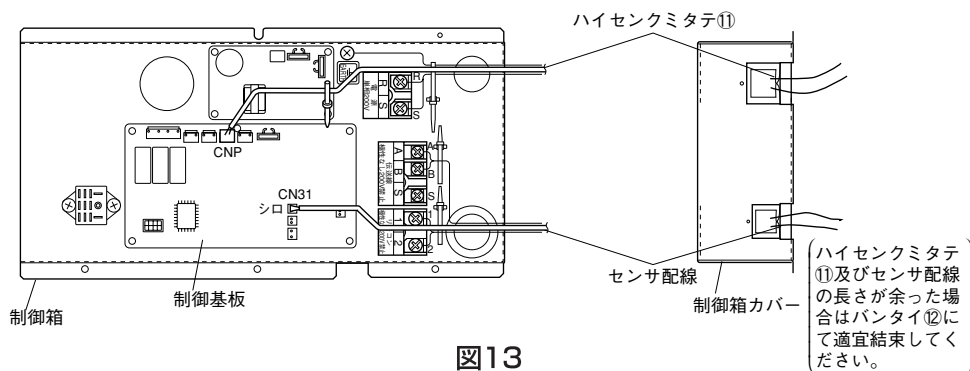


図13

(ハイセンクミタテ⑪及びセンサ配線の長さが余った場合はバンタイ⑫にて適宜結束してください。)

5. ドレン配管

- 1) ドレンアップメカ本体①の排水口と、硬質塩ビパイプVP20(現地手配)を塩ビ系接着材にて接着し、確実に水漏れのないよう接続してください。—図14
- 2) 接続部はシールテープ⑬を巻き付けてください。—図14

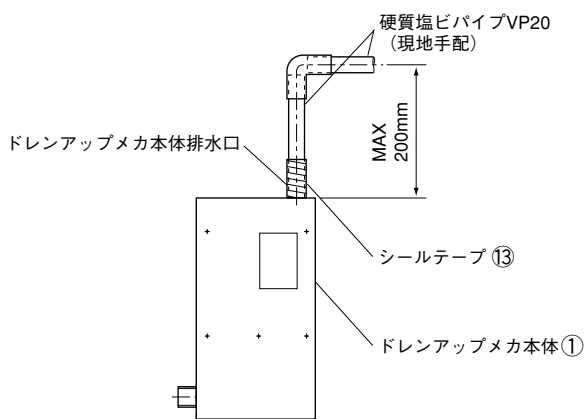
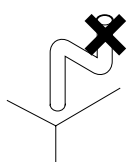
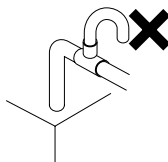
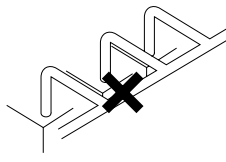
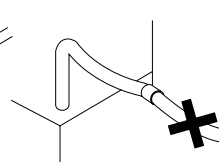
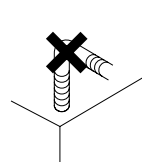


図14

ご注意

- ・ 立ち上げ寸法は、200mm以上にならないように施工してください。200mm以上になると、運転停止時におけるドレン水の逆流量が多くなり、オーバーフローの原因になることがあります。
- ・ 以上完了後、ドレン配管部に断熱パイプを巻き十分に断熱処理をしてください。
- ・ ドレン配管の施工が下図のようにならないように注意してください。水漏れ及び露たれの原因になることがあります。
- ・ ドレン配管の横引きは必ず100分の1以上の勾配をとってください。

ドレンパイプの
再立上げドレン配管の
通気管ドレンパイプの
横引き上での合流ドレン配管の
トラップ

断熱不良

6. 試運転

ご注意

・ 本体の電気工事、配管工事が完了してから行なってください。

- 1) 室内ユニット本体のドレンパンに水を入れてください。
- 2) 室内ユニット本体の電源を入れてドレンポンプが運転し、ドレンアップメカ本体①のドレンパン内の水が排水されていることを確認してください。
- 3) 確認後、ドレンアップメカ本体①に化粧カバー⑦を取付けてください。
—図15
- 4) 右側のサイドパネルを元どおり取付けてください。(ネジ1本)

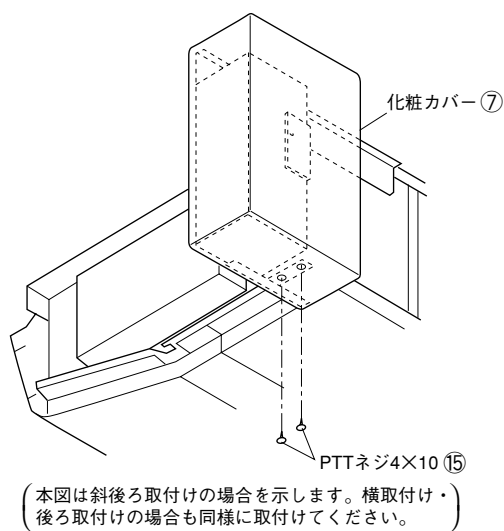


図15